



JAMCA ニュース

No.101

2019年4月1日

発行
協会事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会

〒160-0015 東京都新宿区大塚町31

ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3

☎03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

編集事務局

高等教育の負担軽減について

北九州自動車大学校 理事長
全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

中村 文彦



昨年12月28日に政府より「高等教育無償化の制度の具体化に向けた方針」が出された。真に支援が必要な低所得者世帯の者に対して大学等（大学・短期大学・高等専門学校・専門学校）に修学できるよう、その経済的負担を軽減（授業料及び入学金の減免と給付型奨学金の支給）するという方針の概要が示された。

支援対象となる学生は住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生。実施は2020年4月からとし、授業料等減免制度の創設と給付型奨学金の支給の拡充が合わせて措置される。また、2020年度の在学生から対象となる。成績については、入学前は学習意欲を確認する程度で寛容に、入学後は成績順位や履修状況などを厳格に確認する。

学校に対しては、①機関要件の申請においてシラバスや成績管理等の公表、②対象学生に対する学習指導等、その管理・処理が求められ、また、③公費が投入されることから、学校法人に対する経営指導強化指標を踏まえた対応が求められる。この方策は経営に問題がある学校を救済するものではないため、(i) 負債が運用資産を上回っている、(ii) 3年連続で事業活動収支が赤字、(iii) 3年連続で定員充足率8割を割っている場合の全てにあ

てはまる大学等については対象としない。財源は消費税引上げ分を活用することになっている。

一方、現行の奨学金制度では、独立行政法人 日本学生支援機構（JASSO）による奨学金制度があり、給付奨学金（原則返還不要）と貸与奨学金（返還が必要）がある。

給付型は①住民税非課税世帯の人、②生活保護受給世帯の人、③社会的養護を必要とする人のいずれかの人であり、推薦基準を満たす人から高校が選考して推薦し、学校ごとに人数が決まっている。進学した大学等で1年ごとに審査があり、奨学金継続の手続きが必要である。支給月額は通学形態により異なる。

一方、貸与奨学金は第一種（無利子）と第二種（有利子）があり、第一種の採用基準は①高校での評定が3.5以上、②住民税非課税世帯の人、生活保護受給世帯の人又は社会的養護を必要とする人、①②のいずれかに該当する人。利用金額は通学形態により最高額が異なる。第二種はある収入基準額以下であるならば貸与される。利用額は2万円から12万円まで返還計画を立てる中で自ら決める。それぞれの返還は最高20年までの間、種々の方法があり、結構猶予があるように思える。

本校では5割以上の学生が奨学金を借り入れしている。いずれにしても勉学の意欲と能力がある若者が貧しい家庭の環境で進学できないという、経済的格差社会の解消に進んで欲しいと切に願っている。

これらとは異なる奨学金であるが、自動車整備士を目指す人に対して、企業奨学金がある。企業が学校での学費を奨学金として貸与もしくは、給付してくれる仕組みである。大学校を卒業後その企業に就職し、一定期間勤務することで、返済額が減額されたり、免除される。学校での学費支援と、卒業後の就職先が同時にできるシステムである。

私立高校でも公私間授業料格差を解消するために平成22年度から高等学校等就学支援金制度が制定されている。今後、幼児教育から高等教育まで教育を受ける機会均等社会が実現され、車好きの若者がこの制度を利用して入学して来る事を大いに期待している。

CONTENTS

2面	車載式故障診断装置を用いた自動車検査方法の導入について
3面	クルマ大好き!、活躍!!女子!卒業生
4面・5面	高等教育の無償化と専門学校教育の質保証について
6面・7面	協会トピックス・地区通信
8面	私の教材活用・お知らせ・編集後記